

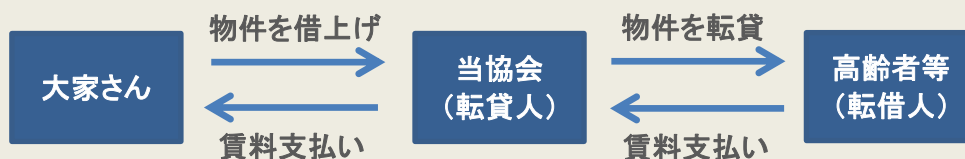
今月のテーマ 「地域居住支援モデル事業」のご案内

当協会では、住宅に困窮し日常の自立生活に不安のある低所得者や高齢者等の方々に対し、住まいの提供や見守り等の生活支援を一体的に提供する事業を始めました。

当事業は、東京都福祉保健局のモデル事業となっており、当面は調布市エリアで実施しております。モデル事業の詳細は下記URLをご参照下さい。

東京都 HP <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2016/07/20q7p300.htm>

地域居住支援モデル事業の仕組み



見守り支援

高齢の入居者様へ、週2回の電話やメール等による「安否確認」を当協会が実施し、「孤立死」の予防に努めます。その他、入居者様が孤立しないよう、「交流会の実施」や「生活相談」も随時当協会ですべて受け入れる体制も整えています。

家賃滞納

当協会が大家様よりお部屋を借上げいたしますので、家賃滞納はございません。

原状回復 残存家財 孤立死

ご入居希望者様との間において「少額短期保険」に加入して頂きます。加入することで「居宅内外」での不慮の事故・病気で亡くなられた際、加入の「保険金支払い」にて原状回復や残存家財の処理処分を当協会が実施いたします。

生活支援

入居者様が、万が一「病気・怪我・入院」等が必要となった際、居住地の「地域包括センター」との連携により、生活支援を実施いたします。

この事業にご賛同下さる大家様、およびお住まいをお探しの方のご相談は、こちらへご連絡下さい。

【問い合わせ先】

NPO法人 日本地主家主協会 地域居住支援モデル事業 (担当: 栗原、樋口、川瀬、見留)

TEL 03-3320-6281